



利便性向上と 環境負荷の低減 推進しています。

平素は当社事業にご理解・ご支援を賜りありがとうございます。
 ございます。

「環境経営報告書2017」をお届けするにあたり、ご
 あいさつ申し上げます。

理想科学は、「美しい健全な環境を次世代に引き継ぐ
 ために地球的規模での環境保全に貢献する」ことを「理想環境憲章」に掲げ、環境負荷の低減に向けた
 活動を推進しております。

当社がメーカーとして、製品の開発・生産・販売活
 動を進めていく過程で、そしてお客様が当社の製品を
 ご活用いただく過程でなんらかの地球資源が消費さ
 れ、またさまざまな廃棄物が生まれています。このこと
 を十分に認識して、利便性の向上と環境負荷の低減
 を両立できるような製品やサービスを創出し、お客様
 にご提供し続けることがわれわれの責務であると考え
 っております。

CONTENTS

ごあいさつ	1	環境性能も両立した 世界に類のない製品を開発	3	Close Up 1 「世界最速」を生み出す 理想科学独自のテクノロジー	5	環境マネジメント 環境への取り組み	9
				Close Up 2 より安全で快適な オフィス環境のために	7		11

を両立する製品・サービスの開発を

さて、当社は平成28(2016)年には、高速カラープリンターオフィス「FWシリーズ」「GDシリーズ」を発売しました。上位機種である「オフィスGDシリーズ」では毎分160枚の高速カラー印刷を実現し、世界最速の印刷スピードを更新しました。高速性と経済性を兼ね備え、カラー印刷を気軽にご利用いただけることで、オフィスワークに大きな革新をもたらします。

これら製品の環境性能については、開発段階からハードウェアとサプライ(インク)のシステムとして環境負荷低減に取り組み、省資源化等の環境配慮設計を推進してきました。揮発性有機化合物の放散基準、エネルギー効率など厳しいエコマーク基準をクリアした成果が認められ、公益財団法人日本環境協会が主催する「エコマークアワード2016」において、「オフィスFWシリーズ」が「プロダクト・オブ・ザ・イヤー」を受賞することができました。

今後もお客様の利便性向上と環境負荷の低減を両立した製品・サービスの開発を推進してまいります。

本報告書は、当社の環境への取り組みやお客様をはじめとするステークホルダーの皆様との社会的なつながり、そして健全な企業活動の礎であるコンプライアンスやコーポレートガバナンスについて説明しています。ぜひご一読いただければ幸いです。

2017年7月
代表取締役社長

羽山 明

社会とのかかわり

13

海外での取り組み

16

マネジメント

17

理想科学について

19

編集方針

21

第三者審査報告書

22